

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社りそなホールディングス（証券コード:8308）

【据置】

長期発行体格付	AA
格付の見通し	安定的
債券格付	AA
発行登録債予備格付	AA

株式会社りそな銀行（証券コード:—）

【据置】

長期発行体格付	AA
格付の見通し	安定的

株式会社埼玉りそな銀行（証券コード:—）

【据置】

長期発行体格付	AA
格付の見通し	安定的

株式会社関西みらい銀行（証券コード:—）

【据置】

長期発行体格付	AA
格付の見通し	安定的
短期発行体格付	J-1+

株式会社みなと銀行（証券コード:—）

【据置】

長期発行体格付	AA
格付の見通し	安定的

■格付事由

- りそなグループは、りそな銀行、埼玉りそな銀行、関西みらい銀行、みなと銀行などを擁する大手銀行グループ。JCRは、グループ信用力を「AA」相当とみている。個人および中小企業分野で確立された事業基盤、良好な貸出資産の質と資本充実度などを反映している。リスク・リターンのバランスを意識した成長投資の実行、アセットライトなフィービジネスの強化などの取組みの成果に注目していく。
- グループはリテールを中心に堅固な事業基盤を有する。首都圏と関西圏を中心に全国に店舗展開しており、グループ連結の総資産は邦銀グループの中で屈指の規模を有する。貸出ポートフォリオに占める個人・中小企業向けの比率が約8割と高く、住宅ローンの残高は国内トップを誇る。りそな銀行は信託併営の商業銀行として長い歴史があり、企業年金、不動産、資産運用といった信託やその関連分野においても一定の事業基盤を持つ。リテール向けの預貸業務を中核としながらもフルラインの信託機能を備えるなど、メガバンクグループおよび地域銀行のいずれとも異なる事業ポートフォリオを構成している。
- 基礎的な収益力には回復がみられる。超低金利環境の下で資金利益が圧迫されてきたが、預り資産、不動産、決済などに関連するフィー収益の拡大などが利益を下支えしている。また、IT投資やシステム統合費用な

どの負担がある中でも、傘下の地域銀行を含めた人員のスリム化などにより経費をコントロールできている。24/3 期の連結実質業務純益は、資金利益およびフィー収益の増加や外国債券のロスカット影響の縮小などにより、前期比で増益となった。

- (4) 貸出資産の健全性は維持されている。グループ連結の金融再生法開示債権比率は1%台と低い水準で推移している。与信費用は、コロナ禍の時期を含め低位に抑えられている。住宅ローンの割合が大きいことや、主要な顧客である中堅・中小企業の財務が長期にわたり改善してきたことなどが背景にある。貸出ポートフォリオの大部分がリテール向けであることから、大口与信集中のリスクも抑制されている。貸出のほとんどを国内向けが占めるため、大手銀行グループの中では海外の景気変動などの影響を受けにくい。
- (5) 資本水準はリスク対比で十分な厚みを有している。貸倒引当金などを控除したグループ連結の調整後コア資本比率は、AA レンジとして相応の水準にある。今後、成長投資の積極化や、いわゆるバーゼルⅢ最終化の完全実施が資本水準を下押しする可能性があるが、自己資本比率とのバランスをとりつつ成長投資や株主還元などを進める方針であり、十分な資本充実度は維持されると JCR はみている。

発行体：株式会社りそなホールディングス

りそなグループの持株会社。発行体格付はグループ信用力と同等としている。ダブルレバレッジ比率が一定水準を下回って推移していることや、財務運営方針などを踏まえると今後も大きく上昇する可能性が低いとみていることから、持株会社が有する構造劣後性を反映していない。

発行体：株式会社りそな銀行

りそなグループの中核銀行。発行体格付は、グループにおける位置づけなどを踏まえ、グループ信用力と同等としている。グループの資産・収益の過半を占めるほか、グループ内の他行へノウハウやプロダクトを供給する役割を担っている。

発行体：株式会社埼玉りそな銀行

りそな銀行の前身にあたる都市銀行の埼玉県内の事業を承継し設立された銀行で、りそな銀行とともにりそなグループの中核をなす。発行体格付は、グループにおける位置づけなどを踏まえ、グループ信用力と同等としている。国内有数の住宅地・商工業地である埼玉県内で最大の預貸金シェアを誇り、預金残高は地銀トップ行と同程度で国内でも屈指の規模を有する。

発行体：株式会社関西みらい銀行

大阪府および滋賀県を中心に関西で広域に店舗展開する地方銀行で、りそなホールディングスの完全子会社。りそなグループ傘下であった旧近畿大阪銀行と、18年にグループの連結子会社となった旧関西アーバン銀行が合併し誕生した。発行体格付は、グループにとっての戦略的重要度や、グループとの結びつきの強さなどを踏まえグループ信用力と同等としている。りそなグループの主要な営業エリアの1つである関西圏において一定の顧客基盤やブランド力を有し、地域の中小企業や個人にアクセスするための重要なエンティティと位置付けられる。営業推進、リスク管理、資本政策などにかかる経営管理はりそなグループ一体として行われているほか、銀行経営の重要なインフラである勘定系システムはりそな銀行などと共通化されている。

発行体：株式会社みなと銀行

兵庫県を主要な地盤とする第二地方銀行で、りそなホールディングスの完全子会社。18年にグループの連結子会社となった。発行体格付は、グループにとっての戦略的重要度や、グループとの結びつきの強さなどを踏まえグループ信用力と同等としている。りそなグループの主要な営業エリアの1つである関西圏において一定の顧客基盤やブランド力を有し、地域の中小企業や個人にアクセスするための重要なエンティティと位置付けられる。営業推進、リスク管理、資本政策などにかかる経営管理はりそなグループ一体として行われているほか、勘定系システムは25年1月にりそな銀行などと共通化される予定である。

(担当) 宮尾 知浩・古賀 一平

■ 格付対象

発行体：株式会社りそなホールディングス

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第28回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2024年7月11日	2029年7月11日	0.833%	AA

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	3,000億円	2024年5月7日から2年間	AA

発行体：株式会社りそな銀行

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的

発行体：株式会社埼玉りそな銀行

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的

発行体：株式会社関西みらい銀行

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的

対象	格付
短期発行体格付	J-1+

発行体：株式会社みなと銀行

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2024年10月15日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩
主任格付アナリスト：宮尾 知浩
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024年10月1日)、「銀行等」(2021年10月1日)、「金融グループの持株会社および傘下会社の格付方法」(2022年9月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社りそなホールディングス
株式会社りそな銀行
株式会社埼玉りそな銀行
株式会社関西みらい銀行
株式会社みなと銀行
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル